

令和3年度

歳入歳出決算補充説明

教育委員会

令和3年度一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会所管の事務事業に係る決算の概要をご説明申し上げます。

(歳入)

教育委員会関係の歳入決算額は、

予算現額	412億1,251万7,600円
調定額	387億2,132万1,692円
収入済額	385億9,680万7,815円
不納欠損額	26万8,600円
収入未済額	1億2,424万5,277円

であります。

(歳出)

第10款教育費のうち、教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,573億9,121万9,600円
支出済額	1,540億9,637万6,778円
翌年度繰越額	18億 189万7,000円
不用額	14億9,294万5,822円

であります。

以下、お手元の「令和3年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算につきましてご説明申し上げます。

第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第8目教育使用料(50頁)は、

予算現額	39億826万7,000円
調定額	39億686万3,427円
収入済額	39億682万3,827円
収入未済額	3万9,600円

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校授業料	39億 54万7,167円
土地使用料	214万2,648円
建物使用料	26万9,140円
学校体育施設使用料	386万4,872円

なお、収入済額は、予算現額に比べて144万3,173円の減収となりましたが、これは学校体育施設使用料の減によるものです。

収入未済額は、高等学校授業料に係るものです。

次に、第2項手数料、第9目教育手数料(66頁)は、

予算現額	1億1,100万4,000円
調定額	1億1,313万5,640円
収入済額	1億1,313万5,640円

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教育職員免許状授与等手数料	1,442万 140円
高等学校入学選抜手数料	3,381万2,050円
高等学校入学科	6,017万8,500円

なお、収入済額は、予算現額に比べて213万1,640円の増収となりましたが、これは主に、高等学校入学選抜手数料の増によるものです。

第9款国庫支出金、第1項国庫負担金、第8目教育費負担金（76頁）は、

予算現額 237億7,273万9,000円
調定額 237億6,872万 818円
収入済額 237億6,872万 818円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
義務教育費負担金	237億1,715万3,738円
特別支援学校就学奨励費負担金	5,003万5,076円

なお、収入済額は、予算現額に比べて401万8,182円の減収となりましたが、これは主に、特別支援学校就学奨励費負担金の減によるものです。

次に、第2項国庫補助金、第10目教育費補助金（102頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 74億4,814万4,600円
調定額 64億7,831万8,345円
収入済額 64億7,831万8,345円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校等就学支援金交付金	31億5,257万2,821円
学校施設環境改善交付金	5億7,356万8,000円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	19億8,201万1,055円

なお、収入済額は、予算現額に比べて9億6,982万6,255円の減収となりましたが、これは主に、対象事業の繰り越しに伴う、学校施設環境改善交付金および学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業補助金の減によるものです。

次に、第3項委託金、第8目教育費委託金（114頁）は、

予算現額 1億1,946万2,000円
調定額 1億1,025万5,205円
収入済額 1億1,025万5,205円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
在外教育施設派遣教員委託金	8,074万1,708円

なお、収入済額は、予算現額に比べて920万6,795円の減収となりましたが、これは主に、地域との協働による高等学校教育改革推進事業委託金および学校安全総合支援事業委託金の減によるものです。

第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入（120頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 7,245万1,000円
調定額 7,221万7,012円
収入済額 7,221万7,012円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
地所貸下料	4,004万7,864円
家屋貸下料	3,216万9,148円

これは、自動販売機設置場所を貸付けたことによるものです。

次に、第2目利子及び配当金（120頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 26万2,000円
調定額 26万1,769円
収入済額 26万1,769円 で、

収入済額は、三重県高等学校等修学奨学基金の運用収入です。

次に、第2項財産売払収入、第2目物品売払収入（120頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	1,843万9,000円
調定額	916万6,190円
収入済額	916万6,190円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
物品売払収入（細節）	44万2,388円
教育関係物品売払収入（細節）	872万3,802円

なお、収入済額は、予算現額に比べて927万2,810円の減収となりましたが、これは主に、農業高等学校の動物等売払収入の減によるものです。

次に、第3目生産物売払収入（120頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	4,468万6,000円
調定額	3,007万6,151円
収入済額	3,007万6,151円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校生産品売払収入	2,617万1,532円
実習船漁獲物売払収入	390万4,619円

なお、収入済額は、予算現額に比べて1,460万9,849円の減収となりましたが、これは高等学校生産品売払収入および実習船漁獲物売払収入の減によるものです。

第11款寄附金、第1項寄附金、第14目教育費寄附金（126頁）は、

予算現額 118万円
調定額 122万円
収入済額 122万円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校等修学奨学金寄附金	12万円
特別支援学校寄附金	10万円
新型コロナ克服みえ支え愛募金寄附金	100万円

**第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金（128頁）の
うち、教育委員会関係は、**

予算現額 1億 900万8,000円
調定額 8,880万3,847円
収入済額 8,880万3,847円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
体育スポーツ振興基金繰入金（細節）	7,702万6,262円
財政調整基金繰入金（細節）	1,140万2,000円

なお、収入済額は、予算現額に比べて2,020万4,153円の減収となりましたが、これは主に、基金対象事業費の減に伴う体育スポーツ振興基金繰入金の減によるものです。

**第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金（130頁）のうち、教
育委員会関係は、**

予算現額 1億3,058万5,000円
調定額 1億3,058万5,000円
収入済額 1億3,058万5,000円 で、

収入済額は、事業の繰越に伴い前年度から財源を繰り越したものです。

第14款諸収入、第4項貸付金元利収入、第11目進学奨励金返還金収入（134頁）は、

予算現額	770万2,000円
調定額	1,008万 906円
収入済額	994万4,205円
収入未済額	13万6,701円

で、収入済額は、予算現額に比べて224万2,205円の増収となりました。

次に、第22目高等学校等修学奨学金返還金収入（134頁）は、

予算現額	2億9,688万2,000円
調定額	3億 579万9,655円
収入済額	2億8,826万 324円
不納欠損額	4万7,400円
収入未済額	1,749万1,931円

で、不納欠損額は、返還義務者の免責許可決定によるものです。

次に、第5項受託事業収入、第8目教育関係受託事業収入（140頁）は、

予算現額	1億6,475万8,000円
調定額	1億6,475万8,000円
収入済額	1億6,475万8,000円

で、収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
文化財調査受託事業収入	1億6,416万8,000円
日本周辺高度回遊性魚類資源調査受託事業収入	59万円

次に、第6項収益事業収入、第1目宝くじ収入（142頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 1億5,640万3,000円
調定額 1億5,375万4,700円
収入済額 1億5,375万4,700円 で、

収入済額は、語学指導等を行う外国青年招致事業に充当したものです。

次に、第8項雑入、第2目雑入（142頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 3億3,472万5,000円
調定額 2億6,908万3,073円
収入済額 2億6,672万9,506円
収入未済額 235万3,567円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教員住宅使用料	3,176万7,115円
日本スポーツ振興センター共済負担金	6,407万 490円
日本スポーツ振興センター共済給付金	1億 80万9,007円

なお、収入済額は、予算現額に比べて6,799万5,494円の減収となりましたが、これは主に、日本スポーツ振興センター共済給付金の交付額の減によるものです。

収入未済額のうち主なものは、高等学校等修学奨学金返還金に係る遅延損害金です。

次に、第3目過年度収入（146頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 3,642万9,000円

調定額 1億3,283万46円

収入済額 2,838万5,368円

不納欠損額 22万1,200円

収入未済額 1億422万3,478円 で、

収入済額および収入未済額のうち主なものは、高等学校等修学奨学金返還金です。

不納欠損額は、高等学校修学奨学金返還金で返還義務者の免責許可決定によるものです。

次に、第6目違約金及び延納利息（146頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 39万1,000円

調定額 39万1,908円

収入済額 39万1,908円 で、

収入済額の主なものは、自動火災報知設備更新工事の契約解除に伴う違約金です。

第15款県債、第1項県債、第9目教育債（164頁）は、

予算現額 44億7,900万円
調定額 29億7,500万円
収入済額 29億7,500万円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
校舎その他建築費充当	10億9,400万円
特別支援学校施設建築費充当	2億2,300万円
情報教育充実支援事業費充当	1億5,000万円
教職員人事管理システム運営費充当	2億4,500万円
地域とつなぐ職業教育充実支援事業費 充当	11億3,300万円

なお、収入済額は、予算減額に比べて15億400万円の減収となりましたが、これは主に対象事業の繰越によるものです。

以上で歳入決算の説明を終わりました。引き続き歳出決算につきましてご説明申し上げます。

第10款教育費のうち、教育委員会関係といたしまして、

第1項教育総務費、第1目教育委員会費（438頁）は、

予算現額 860万4,000円
支出済額 672万8,823円
不用額 187万5,177円 で、

支出済額は、教育委員の報酬および教育委員会の開催等に要した経費です。

次に、第2目事務局費（438頁）は、

予算現額 26億2,884万円
支出済額 25億8,965万1,255円
不用額 3,918万8,745円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	24億6,563万3,500円	事務局職員の給与費
管理企画費	1億 310万8,308円	教育委員会事務事業の企画調整、事務局運営、学力向上県民運動推進、学校防災推進に要した経費
公立文教施設整備事務費	143万6,731円	公立小中学校施設整備の指導助言・連絡調整に要した経費
教育政策費	1,947万2,716円	教育改革の推進、高等学校活性化の推進、地域課題解決型キャリア教育の推進に要した経費

不用額の主なものは、教育委員会事務局職員に係る給与費および管理企画費の執行残です。

次に、第3目教職員人事費（440頁）は、

予算現額 144億9,951万1,000円

支出済額 142億8,873万1,071円

不用額 2億1,077万9,929円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人事管理費	3億3,818万7,690円	教職員の人事・採用試験、育成支援、スクール・サポート・スタッフの配置等に要した経費
給与福利管理費	298万8,521円	教職員の給与福利管理に要した経費
電算システム管理費	6,834万6,722円	給与・旅費等のシステム運用管理に要した経費
教員免許ステップアップ事業費	466万2,104円	免許状の授与・検定、免許更新審査および免許法認定講習に要した経費
教職員退職手当	135億9,788万5,224円	教職員の退職手当
教職員人事管理システム運営費	2億7,666万 810円	教職員人事管理システム運用管理に要した経費

不用額の主なものは、教職員退職手当の執行残です。

次に、第4目教育指導費（442頁）は、

予算現額	71億 908万2,000円
支出済額	66億2,156万4,908円
翌年度繰越額	1億9,732万2,000円
不用額	2億9,019万5,092円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
指導行政費	18億1,322万1,615円	指導主事の活動、職業教育支援、学習指導員の配置に要した経費
小・中学校生徒指導費	1億 407万8,637円	小中学校における学力向上支援、いじめ・不登校対策、道徳教育支援等に要した経費
高等学校生徒指導費	2億5,818万1,158円	県立高等学校におけるキャリア教育、学力向上対策、国際教育、スクールバス増便等に要した経費
国際教育費	1億8,615万8,731円	県立高等学校の外国語指導助手の活動に要した経費
入学者選抜事務費	1,012万7,820円	県立高等学校入学者選抜事務に要した経費
奨学費	38億6,091万5,477円	高等学校等修学奨学金、高校生等奨学給付金および就学支援金
特別支援教育振興費	2,447万4,648円	県立特別支援学校における医療的ケアの充実や就労・自立支援、発達障がい指導・支援等に要した経費
いじめ・不登校対策充実事業費	3億3,429万6,371円	スクールカウンセラーの配置等のいじめ・不登校対策に要した経費
外国人児童生徒支援費	3,011万 451円	外国人児童生徒支援に要した経費

翌年度繰越額は、指導行政費および小・中学校生徒指導費に係るものです。指導行政費は、県立高等学校の職業学科において農業実習用温室および機械加工を行う実習室の整備を行うものです。

小・中学校生徒指導費は、公立幼稚園において、感染症防止対策のための衛生用品の購入や、ICT環境を整備する市町へ補助を行うものです。

いずれも国の令和3年度補正予算に係る事業であり、完了が令和4年度になるため繰り越したものです。

不用額の主なものは、小・中学校生徒指導費および指導行政費の執行残です。

次に、第5目総合教育センター費（444頁）は、

予算現額 1億3,195万2,000円
支出済額 1億2,832万4,671円
不用額 362万7,329円 で、

支出済額は、教職員の資質の向上を図るための研修・研究、総合教育センターの管理運営や教育相談に要した経費です。

次に、第6目人権教育費（446頁）は、

予算現額 9,025万3,000円
支出済額 8,965万9,670円
不用額 59万3,330円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人権教育総合推進事業費	8,306万1,209円	人権教育の推進および高等学校等進学奨励金等に要した経費
学校教育事業費	419万7,002円	学校人権教育の推進に要した経費
社会教育事業費	240万1,459円	社会人権教育の推進に要した経費

不用額の主なものは、学校教育事業費の執行残です。

次に、第7目恩給及び退職年金費（448頁）は、

予算現額 1,780万円
支出済額 1,779万9,216円
不用額 784円 で、

支出済額は、退職教職員の恩給および年金です。

次に、第8目教職員厚生費（448頁）は、

予算現額 7億8,099万5,000円
支出済額 7億6,725万9,441円
不用額 1,373万5,559円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
教職員厚生費	7億5,973万3,994円	教職員および事務局職員の福利厚生に要した経費
教職員住宅費	752万5,447円	教職員住宅等の維持修繕等に要した経費

不用額の主なものは、教職員厚生費の執行残です。

第2項小学校費、第1目教職員費（450頁）は、

予算現額 531億6,403万7,000円
支出済額 530億8,793万3,450円
不用額 7,610万3,550円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	529億9,448万8,105円	小学校教職員に係る人件費
旅費	9,344万5,345円	小学校教職員に係る旅費

不用額の主なものは、小学校の教職員に係る給与費の執行残です。

第3項中学校費、第1目教職員費（450頁）は、

予算現額 294億1,043万6,000円
支出済額 293億1,097万5,800円
不用額 9,946万 200円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	292億 857万9,349円	中学校教職員に係る人件費
旅費	9,659万4,850円	中学校教職員に係る旅費
学校部活動振興費	580万1,601円	中学校の部活動振興に要した経費

不用額の主なものは、中学校の教職員に係る給与費の執行残です。

第4項高等学校費、第1目高等学校総務費（452頁）は、

予算現額 279億7,689万1,000円
支出済額 279億4,990万5,617円
不用額 2,698万5,383円 で、

支出済額は、県立高等学校の教職員に係る人件費です。

次に、第2目高等学校管理費（452頁）は、

予算現額	45億2,044万2,000円
支出済額	33億8,053万5,405円
翌年度繰越額	9億5,037万7,000円
不用額	1億8,952万9,595円

で、支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校運営費	20億3,039万2,638円	県立高等学校の管理運営に要した経費
指導運営費	1,179万1,736円	県立学校納付金の徴収事務に要した経費
学校部活動振興費	3,068万8,807円	県立高等学校の部活動振興に要した経費
情報教育事業費	5億4,225万5,735円	情報教育機器設備等の充実に要した経費
実習船運営費	1億1,341万5,892円	水産高等学校実習船の運営等に要した経費
校舎その他修繕費	6,768万841円	県立学校の校舎等の修繕、維持管理に要した経費
財産管理事務費	2億9,106万4,786円	県立学校の設備等の財産管理に要した経費
デジタルスクールネットワーク事業費	2億8,961万4,970円	学校情報ネットワークの管理に要した経費
実習船建造事業費	363万円	水産高等学校実習船の建造に要した経費

翌年度繰越額は、情報教育事業費および実習船建造事業費に係るものです。情報教育事業費は、県立学校において指導者用の情報端末の整備を行うものです。

実習船建造事業費は、水産高等学校において新しい実習船の建造工事を行うものです。

いずれも国の令和3年度補正予算に係る事業であり、完了が令和4年度になるため繰り越したものです。

不用額の主なものは、情報教育事業費の執行残です。

次に、第3目学校建設費（454頁）は、

予算現額 26億8,415万6,300円
 支出済額 24億4,605万7,845円
 不用額 2億3,809万8,455円 で、

支出済額は、高等学校の改修や施設整備等に要した経費です。
 不用額は、高等学校の改修工事等の執行残です。

第5項特別支援学校費、第1目特別支援学校費（456頁）は、

予算現額 134億3,728万1,300円
 支出済額 126億5,057万1,730円
 翌年度繰越額 6億1,552万円
 不用額 1億7,118万9,570円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	109億1,589万5,442円	県立特別支援学校教職員の 人件費
学校運営費	4億7,222万9,052円	県立特別支援学校の管理運 営に要した経費
指導運営費	5億6,574万8,139円	県立特別支援学校のスクー ルバスの整備・運行委託、 給食調理・配送業務委託等 に要した経費
就学奨励費	1億5,174万6,555円	児童生徒の就学による保護 者の経済的負担の軽減を図 るために要した経費
特別支援学校施設 建築費	5億4,495万2,542円	県立特別支援学校の改修や 施設整備等に要した経費

翌年度繰越額は、特別支援学校施設建築費に係るものです。

これは、特別支援学校の教室の改修等を行うもので国の令和3年度補正予算に係る事業であり、完了が令和4年度となるため、繰り越したものです。

不用額の主なものは、特別支援学校施設建築費および就学奨励費の執行残です。

第6項社会教育費、第1目社会教育総務費（458頁）は、

予算現額 1億3,826万1,000円
 支出済額 1億3,743万3,026円
 不用額 82万7,974円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
社会教育推進費	77万6,224円	社会教育事業の企画・指導等に要した経費
地域教育推進費	33万4,596円	子どもの読書活動の推進等に要した経費
熊野少年自然の家費	4,722万926円	熊野少年自然の家の管理運営に要した経費
鈴鹿青少年センター費	8,910万1,280円	鈴鹿青少年センターの管理運営に要した経費

不用額の主なものは、社会教育推進費および鈴鹿青少年センター費の執行残です。

次に、第6目文化財保護費（460頁）は、

予算現額 2億7,438万1,000円
 支出済額 2億7,293万 285円
 不用額 145万 715円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
埋蔵文化財費	1億7,459万8,181円	国道建設工事等に伴う埋蔵文化財の受託発掘調査および埋蔵文化財センターの管理運営等に要した経費
文化財管理費	9,833万2,104円	国指定および県指定文化財の保存、天然記念物等の保存管理等に要した経費

不用額の主なものは、文化財管理費の執行残です。

第7項保健体育費、第1目保健体育総務費（462頁）は、

予算現額 3億6,595万9,000円
 支出済額 2億3,929万2,386円
 翌年度繰越額 3,867万8,000円
 不用額 8,798万8,614円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校保健安全管理費	2億3,413万7,127円	児童生徒の健康管理、学校における安全対策等に要した経費
学校給食対策費	515万5,259円	県立学校給食の衛生・品質管理の徹底、食育推進等に要した経費

翌年度繰越額は、学校保健安全管理費に係るもので、県立学校において感染防止対策のため必要となる衛生用品を購入する事業で、国の令和3年度補正予算に係る事業であり、完了が令和4年度になるため繰り越したものです。

不用額の主なものは、学校保健安全管理費の執行残です。

次に、第2目体育振興費（462頁）は、

予算現額 1億5,233万8,000円

支出済額 1億1,102万2,179円

不用額 4,131万5,821円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
運動部活動支援事業費	7,714万3,842円	運動部の全国・ブロック大会等の開催、参加等に要した経費
みえ子どもの元気アップ総合推進事業費	3,094万2,527円	子どもの体力向上推進、中学校への武道指導者派遣、中学校・高等学校への地域スポーツ指導者派遣に要した経費
県立学校体育施設開放事業費	293万5,810円	県立学校の体育施設の開放に要した経費

不用額の主なものは、運動部活動支援事業費およびみえ子どもの元気アップ総合推進事業費の執行残です。

以上をもちまして、教育委員会関係の令和3年度一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わります。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。